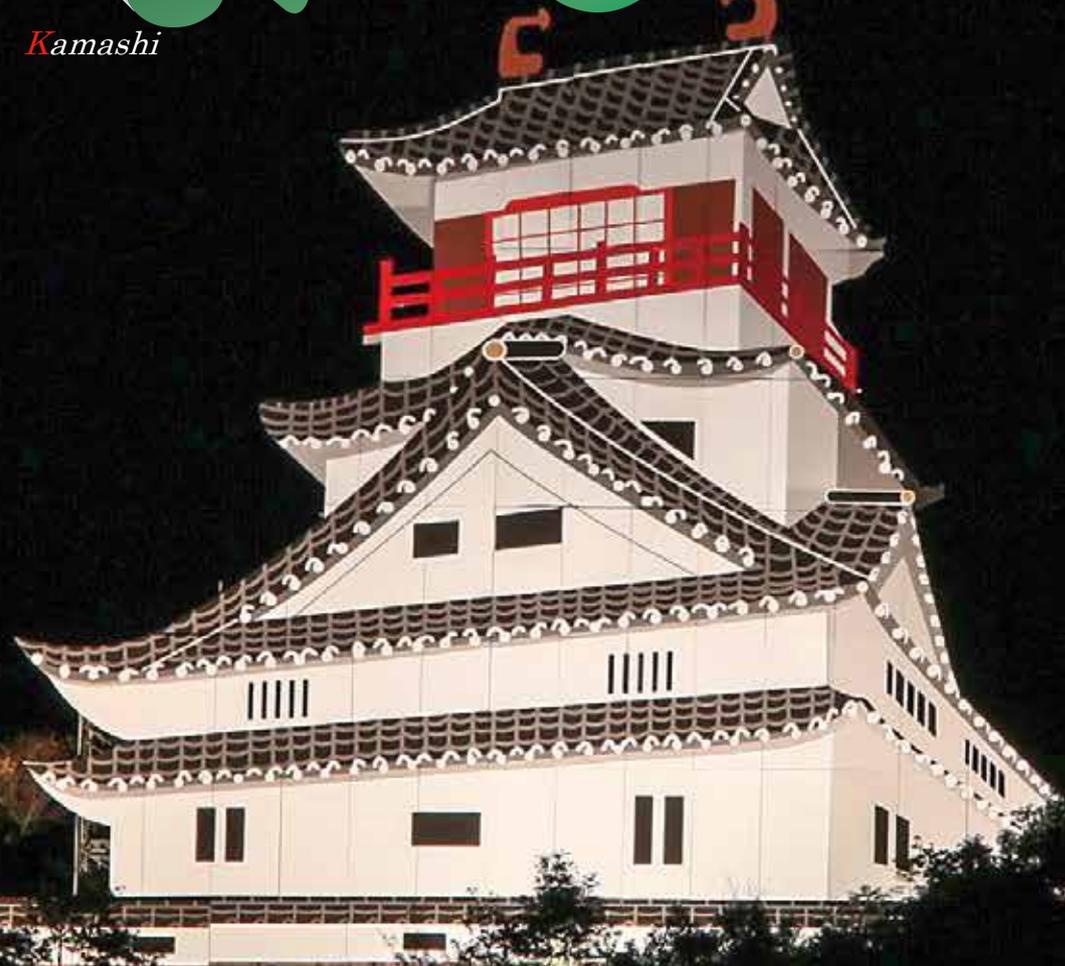


# かまし No.50

平成30年(2018)11月1日

Gikaidayori Kamashi



- 表紙. 一夜城まつり
- 2P. 委員会審査結果報告
- 4P. 平成29年度決算6会計を認定
- 5P. 9月補正予算・  
山田中学校3年生が議会を傍聴
- 6P. 議案の結果一覧
- 7P. 人事案件・意見書・請願・  
豪雨災害見舞金をいただきました
- 8P. いっぱん質問
- 15P. 委員会研修報告
- 16P. 嘉麻市高校生議会開催（お知らせ）

# 委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の  
審査や活動を報告します。

(各委員会に付託された議案の審査結果は6ページ)



田中委員長



中嶋副委員長



田中委員



永水委員



中村委員



山倉委員

## 総務財政委員会

### J R 桂川駅までの 移動手段を確保

バス条例の一部を  
改正する条例

本案は、嘉麻市バスの熊ヶ畑・桂川線の一部路線を変更し、西鉄バスの確井・大分坑線28番系統の廃止路線を補完することに伴い、市バス運賃について条例に所要の改正を行うため提案されたものです。

執行部より、今回の路線変更に伴い、市内及び桂川町内にバス停を新設する予定としており、路線距離が約2km、運行時間が約4分、それぞれ増加することとなるため、J R 桂川駅での乗り継ぎに支障のないよう運行ダイヤを検討しているところである。

また、これまで西鉄バスは、日曜、祝日、お盆及び年末年始においても運行されていたため、市バスによる補完後も朝夕の2便になるが運行する予定とし

ているとの説明がありました。

委員より、運行経費に対する桂川町との負担割合に関する質問に対し、今回の路線変更は、市バスによる代替運行によって嘉麻市民の移動手段を確保することを目的としており、路線構築上、桂川町の意向などは踏まえておらず、現状の西鉄バスと同様に桂川町内のバス停で誰もが利用できる状況から、現在のところ桂川町と負担に関しては協議を行っていない。ただし、今後、桂川町から当該路線の運行に係る共同運行などの要望があれば、費用負担等を求めていく必要があると考えているとの回答がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。

※本会議では、全会一致で可決されました。

# 民生文教委員会



岩永委員長



藤副委員長



廣瀬委員



新井委員



中嶋委員



新井委員

## 碓井中・稲築中・稲築東中学校区 小中一体型校施設整備に向け協議

### 嘉麻市小中一体型校 施設整備協議会条例

本案は、校区別の小中一体型校整備基本計画策定にあたり、地方自治法に基づき、嘉麻市小中一体型校施設整備協議会を設置するため提案されたものです。

執行部より、第1条では、小中一体型校の施設整備に関し、嘉麻市学校施設整備基本計画を踏まえ、地域の特性を生かした施設整備に必要な事項を協議するため審議会を設置する。第2条では、碓井中学校区、稲築中学校区、稲築東中学校区で名称及び協議区域を定め、第3条では、所掌事務を定めている。第4条では、委員の構成を12名以内、学識経験者・保護者代表者・学校の代表者・公共的団体が推薦する者で組織する。第5条では委員の任期を定め、第6条から第8条においては

審議会の運営について定めるものである。また、審議会は10月から翌年3月までの間に12回開催される予定である旨の説明がありました。

委員より、保護者や子育て世代への周知が不十分であり、理解や合意を得ないまま進むべきではないという反対意見や、一体型校を整備することで財政的に建設費等を削減できることや有利な財源が活用できる時であることから積極的に進めてほしいという賛成意見がありました。

審査の結果、賛成多数で可決しました。  
※本会議では、賛成多数で可決されました。

# 産業建設委員会

## 市道路線の変更



北畠委員長



田上副委員長



廣方委員



石原委員



出水委員



坂口委員

### 市道内民地所有者の 申し出に伴う市道路 線の変更

本案は、市道内民地所有者の申し出に伴い、当該路線の起終点等の変更を行うため提案されたものです。執行部より、変更内容は、終点の地先が「熊ヶ畑字井手ノ本2077番1地先」から「熊ヶ畑字中馬場2615番3地先」に、また、終点の変更に伴い道路延長が

「516・4m」から「253・8m」に変更するものである。起点については、位置に変更はないが、国土調査等により地先の地名等が無くなっているため変更を行うものである。

また、一部の市道の廃止にあたり、廃止区間に隣接している土地の所有者及び利用者を確認した結果、全ての回の申請者が所有者で

あり、市道としての機能が失われるため廃止するものであるとの説明がありました。

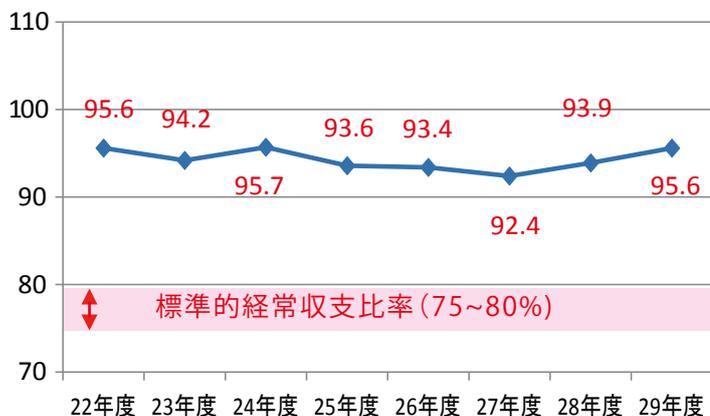
審査の結果、全会一致で可決しました。  
※本会議では、全会一致で可決されました。



現地調査の様子

# 平成29年度 決算6会計を認定

## 経常収支比率の推移



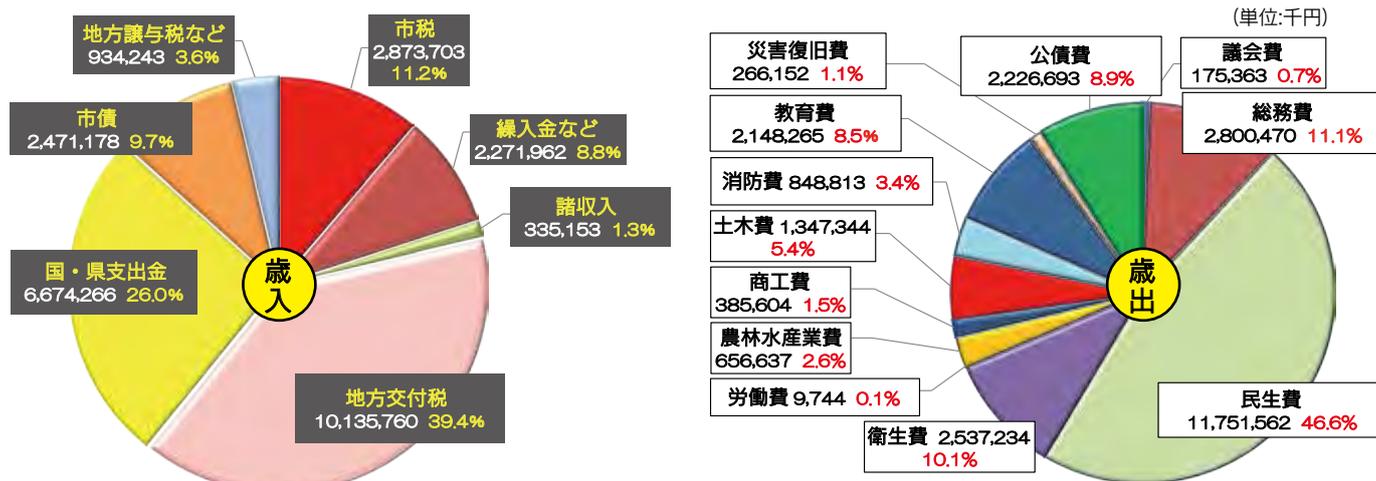
決算特別委員会において、平成29年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額256億9,626万円、歳出総額251億5,388万円とし、歳入歳出差引額は、5億4,238万円となっています。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が21・3%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が78・7%で、他に頼った自治体運営となっています。

経常収支比率は、95・6%と1・7ポイント上昇し前年度より若干悪化しました。審査の結果、6会計ともに認定されました。

## 一般会計決算の状況



## 各会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	256億9,626万円	251億5,388万円	5億4,238万円	
国民健康保険事業特別会計	60億5,040万円	65億4,440万円	△4億9,400万円	
後期高齢者医療特別会計	6億149万円	5億9,278万円	871万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,110万円	3,773万円	337万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億645万円	51億4,428万円	1億6,217万円
	サービス事業勘定	7,573万円	7,573万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億925万円	5億9,544万円	1億1,381万円
	資本的収支	6億6,507万円	9億5,230万円	△2億8,723万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

# 9月補正予算

※千円以下を切り捨てています。

一般会計	31億4,489万円増
総額	296億6,825万円
国民健康保険特別会計	6,139万円増
総額	55億2,293万円
介護保険特別会計	1億7,158万円増
総額	55億7,435万円
補正なし	
後期高齢者医療特別会計	
総額	6億1,883万円
住宅新築資金会計	
総額	5,032万円
水道事業会計	
収益的支出	7億 145万円
資本的支出	17億5,550万円
6会計総額	438億9,165万円

## 一般会計補正の主なもの

### (歳入)

財政調整基金繰入金	6億5,407万円
土木施設災害復旧費負担金	3億7,438万円
農林水産業施設災害復旧費補助金	3億5,584万円

### (歳出)

農地農業用施設災害復旧事業	10億6,532万円
土木施設災害復旧費	9億3,852万円
林道災害復旧事業	6億1,824万円



豪雨災害箇所（白木線）

# 山田中学校3年生が議会を傍聴

平成30年9月12日の決算特別委員会に、嘉麻市立山田中学校の三年生62名が、公民的分野の学習への意欲喚起を図ること、また、地方政治の実際を観ることで自分たちの住んでいる地域の出来事に興味・関心を持たせ、地域を愛する心の育成を図ることを目的に市議会を傍聴しました。



真剣な眼差しでやり取りを見守る様子



# 議案の結果一覧(9月定例会)

○…全会一致  
△…賛成多数  
※…討論あり

## 各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

### 総務財政委員会

議案 第74号 バス条例の所要の改正	※○可 決
〃 第75号 職員等の旅費に関する条例の所要の改正	○可 決

### 民生文教委員会

議案 第73号 小中一体型校施設整備協議会条例の制定	※△可 決
〃 第76号 社会体育施設条例の所要の改正	○可 決

### 産業建設委員会

議案 第78号 市道路線の変更	○可 決
-----------------	------

### 予算特別委員会

議案 第72号 専決処分事項の承認(平成30年度一般会計補正予算(第3号))	○承 認
〃 第79号 平成30年度一般会計補正予算(第4号)	※△可 決
〃 第80号 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○可 決
〃 第81号 平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○可 決

### 決算特別委員会

認定 第1号 平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	※△認 定
〃 第2号 平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	※△認 定
〃 第3号 平成29年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○認 定
〃 第4号 平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	○認 定
〃 第5号 平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○認 定
〃 第6号 平成29年度水道事業会計決算の認定	○認 定

### その他

議案 第82号 平成30年度一般会計補正予算(第5号)	○可 決
〃 第83号 平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○可 決
請願 第2号 上山田～熊ヶ畑地区・歩道整備を求める請願	継続審査

# 人事案件

人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き次の方を推薦することについて全会一致で同意しました。

榎 悦子 氏

教育長の任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することについて全会一致で同意しました。

木本 寛昭 氏

国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書

現憲法は、今日に至るまでの70年余一度の改正も行われていない。直面する諸課題から国家と国民の安全・

安心を確保し、環境福祉の向上を図る内容であることが強く求められる。また、国会は

もちろん国民が幅広く論議し、その結果が反映されるべきであるため、国会において活発かつ広範な議論を推進

するとともに、国民的議論を喚起することを国に要望するものです。

(賛成多数・可決)

※討論あり

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

一、児童虐待防止体制を強化するプランを新たに策定し、必要な財源を速やかに講ずること。

二、子どもの問題を児童相談所に一極集中させている現状を改め、児童相談体制改革を行うこと。

三、児童相談所間及び児童相談所と市町村の情報が共有できるシステムを新たに構築すること。

四、全国共通ダイヤル「189」を児童虐待通告に限定し、運用の改善に努めること。

五、スクールソーシャルワーカーを中心とした学校における虐待対応体制を整備することを国に要望するものです。

(全会一致・可決)

## 意見書

## 請 願

上山田・熊ヶ畑地区・歩道整備を求める請願

上山田・神幸、百々谷から熊ヶ畑・堀川間は、歩道がないため大型車両が通るとき、通行中の子どもを含む市民は、車に巻き込まれないように道端によけたり、自転車を降り通過を待つなど、危険から自己防御しているのが現状である。よって、市民の安全のため、旧JR鉄道跡地に歩道を整備することを求めるものです。

(継続審査)

「宮若市議会」より  
豪雨災害見舞金を

いただきました

10月24日、宮若市議会の遠藤議長から山倉議長に見舞金が手渡されました。

いただいた見舞金は災害復旧や復興の財源として活用させていただきます。



谷口副議長

遠藤議長

山倉議長

廣方副議長

# いっぱん質問



行政の考えを問う

**廣瀬 公彦 議員**

防災マップと被災箇所の突き合わせは済んだか  
.....9P

**中嶋 時夫 議員**

部落問題をはじめとする人権行政に対する  
見解は.....10P

**藤 伸一 議員**

胃がん対策でABC検査導入の考えは.....11P

**出水 貴之 議員**

太陽光発電施設の設置ルールづくりが必要...12P

**岩永 利勝 議員**

7月の豪雨災害(大界ため池周辺)の原因は.....13P

**新井 高雄 議員**

熊ヶ畑地区・赤地の水害被害の原因と責任は...14P

**中村 春夫 議員**

大火災を起こした百々谷中間処分場の  
燃えかすの状況は.....9P

**新井 聖次 議員**

地域継続計画を立てておく必要があるのでは  
ないか.....10P

**田中 日本明 議員**

今後の財政見通しは.....11P

**田上 孝樹 議員**

嘉麻市の温室効果ガス削減は.....12P

**石原 浩二 議員**

公営住宅の高齢者・障がい者への配慮は.....13P

**田中 義幸 議員**

用務員手当は支給されているか.....14P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

## 中村 春夫 議員



**問** 大火災を起こした百々谷中間処分場の燃えかすの状況は

**答** 8月末時点で約760トンが排出

**質** 熊ヶ畑地区の不法投棄ごみ問題のその後。  
**原岡環境課長** 前回以後、特に進展はないが、福岡県が定期的に行っている今年6月の水質検査に於いて異常なしと報告を受けている。

**質** 熊ヶ畑地区の不法投棄ごみ問題のその後。  
**原岡環境課長** 前回以後、特に進展はないが、福岡県が定期的に行っている今年6月の水質検査に於いて異常なしと報告を受けている。

**質** 熊ヶ畑最終処分場の燃えかすの状況は。  
**環境課長** 本年6月29日付けで覆土計画に伴う残土処分場の許可が出され、覆土に向けた現地調査、作業が実施されている。

**質** 熊ヶ畑最終処分場の燃えかすの状況は。  
**環境課長** 本年6月29日付けで覆土計画に伴う残土処分場の許可が出され、覆土に向けた現地調査、作業が実施されている。

**質** 熊ヶ畑最終処分場の燃えかすの状況は。  
**環境課長** 本年6月29日付けで覆土計画に伴う残土処分場の許可が出され、覆土に向けた現地調査、作業が実施されている。



## 廣瀬 公彦 議員



**問** 防災マップと被災箇所の突き合わせは済んだか

**答** 全体の照合はまだできていない

**質** 熊ヶ畑地区の不法投棄ごみ問題のその後。  
**原岡環境課長** 前回以後、特に進展はないが、福岡県が定期的に行っている今年6月の水質検査に於いて異常なしと報告を受けている。



災害ボランティアに積み出された土嚢

新井 聖次 議員



**問** 地域継続計画を立てておく必要があるのではないか

**答** 現時点では策定していない

**質** 地域防災計画修正案は追加見直しが必要ではないか。  
**大野防災対策課長** 避難所や避難判断基準を見直している。防災計画の見直しが必要な箇所については対応していく。

**質** 想定を最大限に見積もることが大事だと改めて思うが、想定外が起きた場合、本市独自の地域継続計画を立てておく必要があるのではないか。  
**防災対策課長** 災害対策本部を設置時は、市長が本部長として指揮を執ることになる。市

**質** 体制構築について積極的な観点から、大災害に見舞われ指揮系統が麻痺し、危機的、最悪の状況に陥った場合、ガバナンス的議論を掘り下げてやっておく必要があるのではないか。  
**防災対策課長** 災害対策本部を設置時は、市長が本部長として指揮を執ることになる。市

**質** 災害等により庁舎機能が極端に低下した場合、庁舎機能の代替、関係機関との連携、隣接自治体との広域連携を一層積極的に努める必要がある。また、最低限の市民サービスの提供ができるよう常時議論しておくことも重要ではないか。  
**防災対策課長** 市長の判断により、他の3庁舎に本部機能を移すことになっている。

**質** 教育現場における猛暑対策は。  
**木本教育長** 近年の猛暑は、私たちが子どもたちのころに経験したものとは比較にならない異常なものであると認識している。過去の経験、習慣に惑わされず、最新の考え方に立ち必要



な対策を講じる。  
 ※他に消防団員への配慮を質問。

中嶋 時夫 議員



**問** 部落問題をはじめとする人権行政に対する見解は

**答** 重要な課題として差別のない人権のまちづくりを行う

**質** 部落差別解消推進法ができ、地方公共団体は、その地域の実情に応じ、部落差別を解消するため必要な教育及び啓発を行うように努めなければならぬ。人権教育課題として教育委員会の所感は。  
**大森学校教育課参事** 法ができる以前より、小中学校では部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすための人権学習を行ってきた。しかしながら、数年前

に、SNS等への書き込みによる部落差別事象が発生したり、差別的言動を行ったりする事案が小中学校で起こっている。各学校に対し教育活動全体を通じた人権感覚の育成を行うよう指導し、人権学習が児童生徒の発達段階や実態に即した真の部落差別をなくしていくものになっていくのか点検指導していく。

**質** 兵庫県たつの市で条例が制定された背景には、中学校で教師に対する部落差別発言や土地問い合わせ事件等が発生し、特にインターネット上で市内すべての被差別部落のことが書き込まれ、堂々と部落に対する差別言動が行われていた。赤間市長は施策方針の中で、同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、人権教育・啓発の推進につとめ、部落問題は行政の責務として推進し、そのための

人権救済措置や悪質な差別に対する法的規制等の法整備を求めていることが重要だと言われている。部落問題をはじめとする人権行政の見解は。  
**赤間市長** この法律の周知は、行政の責務に於いて啓発するのは当然だ。具体的な取り組みについては、国や県が示す様々な施策に対して、創意工夫しながら嘉麻市独自の取組を行う所存だ。部落問題



の解決を重要な人権課題として捉え、「差別のない人権のまちづくり」を目指していく。  
 ※他に岩崎地区の道路陥没を質問。

田中 日本明 議員



**問** 今後の財政見通しは

**答** 確固たる財政基盤を構築し、市民サービスの向上を図る

**質** 市政運営について  
**赤間市長** 4年間での事業の成果は。財政運営の指針として、予算編成に於ける財政基金の繰り入れを禁止し、行政改革の確実な実施に予算統制の考えを取り入れ、経常経費と人件費の削減が必須であることから、職員350人体制を打ち出した。

**市長** 26年度から29年度までの4年間で、11億円の効果が得られた。更に、将来的には業務の民間委託等も財政に好影響を与える。財政調整基金と減債基金は19億円を積み立て、財政基盤の強化を図った。

**質** 今後の財政見通しは。  
**市長** 公共施設の見直し。嘉麻市は類似団体と比べて多くの施設を抱えており、今後、人口減少と厳しい財政状況

**質** 公共施設の適正化を図る。  
**市長** 公共施設の見直しによる財政効果は。また、事業効果を鑑み、その方向性は。  
**市長** 財政効果は、20年間で、27億800万円見込んでいます。安定的・継続的な市民サービスを提供するには、見直し計画を実行することで、多額の財政負担の軽減を図ることが必要不可欠と考える。



スの向上を図っていく。

藤 伸一 議員



**問** 胃がん対策でABC検査導入の考えは

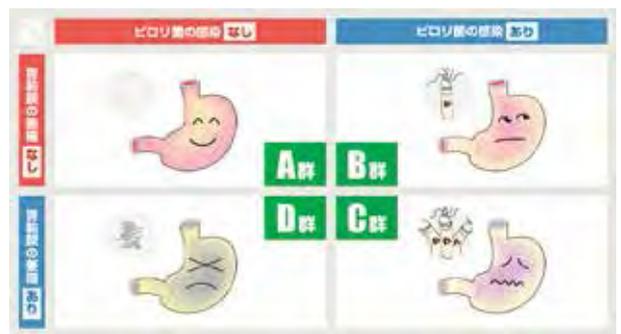
**答** 市民の健康を守るために検討していく

**質** ピロリ菌と胃がんの関係の認識は。  
**石松健康課長** ピロリ菌感染は胃がんの発生に深く関与しており、ピロリ菌を除菌することで、胃がんの発症率が3割から4割減少すると報告されている。  
**質** 胃がんリスク検査におけるABC検査の効果は。  
**健康課長** この検査でリスクスクリーニングし、胃内視鏡検査によるピロリ菌の除菌治療

につなぎ、定期的に検査をしていくことで、胃がんになるリスクを低減できる。  
**質** ピロリ菌検査と除菌を含めたABC検査の導入の考えは。  
**健康課長** 県内でも22の自治体が既にABC検査やピロリ菌検査を導入しており、財政部局と協議をしていく。  
**赤間市長** 医療費削減や早期予防対策として、市民の健康を守るために、検討

していく。  
**選挙制度について**  
**質** 投票日当日の投票時間の設定の権限は。  
**安陪選挙管理委員会事務局長** 投票所の閉会時刻の設定は、嘉麻市選挙管理委員会にある。  
**質** ①期日前投票の割合が年々増加している。  
**②**投票日当日の18時以降の投票率が減少傾向にある。  
**③**経費の削減や職員の労力の負担軽減。

投票日当日の時間の繰り上げの考えは。  
**選挙管理委員会事務局長** 近隣の1市1町を注視しながら、検討していく。  
 ※他に教育に関する負担軽減を質問。



田上 孝樹 議員



**問** 嘉麻市の温室効果ガス削減は

**答** 地球温暖化対策は喫緊の課題であり自治体レベルで推進することが不可欠

**質** 今、地球の環境が少しずつ変化している。異常気象が増えた原因は幾つかあると思うが、大きな原因となっているのが気温と海水温の上昇であり、人間が日々の生活や経済活動の中で排出する温室効果ガスが地球温暖化の原因の90%を占めている。嘉麻市の温室効果ガス削減計画は、

**原岡環境課長** 市みずから温室効果ガスの排出者であることを認識し、地球温暖化防止に向けた取り組みを率先して行うことにより、市民、事業者の自主的かつ積極的な温室効果ガス削減のための行動を促すこととしている。計画の中で平成28年度から32年度の5年間で年平均1%以上削減すると定めている。

**質** 庁舎をはじめとする公共施設では、どのような取り組みをしているのか。

**環境課長** 施設の新設及び更新時には、設計段階においてエネルギーを効率的に使用できるよう配慮している。また、全職員が業務を行う上で、電気・燃料使用量の削減、ゴミの減量化やリサイクル等を実施し、市役所自身も事業者として積極的に削減に努めている。

**質** 民間事業者や市民への周知、エコに対する意識向上はどのようなしているのか。

**環境課長** 市民や事業者の協力が不可欠であると認識しており、省エネの推進やごみの減量化、リサイクルの推進等の取り組み施策の啓発を広く行っている。

**赤間市長** 昨今の異常気象を目的の当たりとして、地球温暖化は喫緊の課題であり自治体レベルで推進することが不可欠であると考えている。低炭素社会、循環型社会の構築に向けた施策を推進していく。※他に学校の心肺蘇生教育を質問。



出水 貴之 議員



**問** 太陽光発電施設の設置ルールづくりが必要

**答** 重要な検討課題と捉え、必要性について研究したい

**質** 太陽光発電施設は、大規模な土地の造成や森林伐採などを伴うことにより、事業者と地域住民とのトラブルや周辺環境への悪影響などの事例が発生している。設置場所や設置数など把握はしているか。

**原岡環境課長** 企業の設置する施設については、把握していない。

**質** 嘉麻市自然環境保全条例は、太陽光発電の設置許可の条件には当てはまらないのか。

**環境課長** 国の許認可に対して、嘉麻市自然環境保全条例は認可の条件に当てはまらない。事業区域周辺の住民は、知らないうちに安全対策が不明のまま大規模な太陽光発電施設が進んでいるという状況がある。市民の不安を解消するために市としての一定のルールづくりが必要と考えるが見解はどうか。

**赤間市長** 国の法整備を求めることが望ましく

いと考えるが、ルールづくりについては、市としても重要な検討課題と捉え、近隣他市における条例等の設置状況や、国・県等の動向を注視しながら、必要性について研究したい。

**自伐型林業**

**質** 自伐型林業を行う市民に対し、市有林の提供・売却または今後開催される研修などに提供する考えはないか。

**大津農林振興課長** 嘉麻市林業研究会と情報

共有し、意見交換等を行いながら検討したい。

**質** 嘉麻市の市有林には、森林保険料や巡視員の賃金など700万円以上の経費がかかっている。自伐型林業であれば、環境的にも優しく大切に森林を管理して間伐し、防災・減災にも役に立つ。自伐型林業の導入を促進するためにも、作業道整備のため、補助金の予算を要望したい。

**市長** 所管課において、

財政状況等を含め、他の状況などの情報収集及び調査検討を指示したい。



## 石原 浩二 議員



**問** 公営住宅の高齢者・障がい者への配慮は

**答** 高齢者や障がい者が使いやすいと思ってもらえるように努める

**質** 高齢者や障がい者が増加し生活する上で、高層階の公営住宅に住み、不自由さや不便さを感じ悩まれている人に対しての対応は、**永水住宅課長** 障がい者及び高齢者向け住宅を9戸管理し、案内している。

**質** 高層階にエレベーター設置などの措置ができないか。**住宅課長** エレベーター設置については以前検討を行ったことがあり、消防法の関係から建物の構造、配置等により3割しか設置できないことが判明している。また、設置可能な団地においても「完全なバリアフリーにならない」「同一団地内で入居者に不公平感を与えてしまう」「設置費用が高額になる」等から見送った経過がある。

**質** 健康者の目線ではそうであるが、逆に不公平感を感じるのは高齢者や障がい者だ。**住宅課長** 上層階に住んでいて階段の昇降に支障がある人については、低層が空家になれば住み替えてもらいたい。そして、畳部屋をフローリングに改修し、ベッドやソファで生活できるように改善を図り、使いやすいと思ってもらえる住宅供給に努めたい。

**質** 市バスや福祉バスを利用しやすいように、手を挙げれば利用できるよう（フリー乗降区間）にならないか。**安陪総務課長** 現在もフリー乗降区間を設けているところもある。新たに地元の要望等があれば警察と協議したい。

**質** 商店、道の駅及び病院等を結ぶシャトルバスの運行にできないか。**総務課長** 現状では難しいが、平成32年の改編により、今以上に、**意見** 利便性の高いものが構築できると考えている。



## 岩永 利勝 議員



**問** 7月の豪雨災害（大界ため池周辺）の原因は

**答** 原因を調査し被害対策を検討する

**質** 鴨生地区の水害対策として、枝坂調整池と飯塚市施工予定の赤坂地区調整池が整備できていれば今回の災害も軽減されていたと思うが、進捗状況は。**廣瀬土木課長** 本年度着手予定の枝坂調整池は未着手であり、早期完成を目指す。飯塚市赤坂地区についても早期実施に向け飯塚市との協議を進める。

**質** 今まで被害に遭っていない大界ため池周辺の被害の原因は。**土木課長** 原因を調査し被害対策を検討する。**質** 40周年グラウンド上の道路冠水は既設の暗渠管が詰まって冠水していたが、別の排水管を設置して放流する考えはあるか。**土木課長** 既設管の復元は困難であると判断している。排水経路を検討する。

**質** 漆生パチンコ店裏の才田川が今回も氾濫し被害に遭っている。前回の質問でも清浄学園の前の池を調整池とする対策を講じてはと提案したが、もう一度検討できないか。**土木課長** 調整池としての効力の有無を調査し、再度検討する。

**質** 山野・樋渡地区で広い範囲が冠水し、多くの事業所等が多大な被害を受け、一カ月も店舗を休業した所もある。早急に原因をつかみ治水対策を国、県と協議してもらいたい。**土木課長** 既に設計は完了している。本年度は導水路工事、来年度

以降は調整池送水路工事を年次計画で実施予定としている。**意見** 枝坂調整池の整備の早期実現を願いたい。



田中 義幸 議員



**問** 用務員手当は支給されているか

**答** 支給していない

**質** B地区の平成28年度総会時に出された資料によると、用務員手当が交付金として支給されていると書かれているが事実か。

**安陪総務課長** 用務員手当は支給していない。間違った情報を区民へ伝えた原因は、行政が交付金の内容を正確に伝えなかったからだ。

**総務課長** その通りだ。行政区へ説明に行ったか。

**総務課長** 行ったが分かり難いと指摘された。明細書を検証したが、A・B行政区の後期分は計算が成り立たなかった。それぞれの行政区を合算したら一致した。兼務している行政区の関係上、中で操作している。

**総務課長** 出し入れがあり、受取りやすくしたつもりが複雑になってしまった。

**質** 松岡市長時代に用務員手当を廃止した。

その代わり、若干の登録数増しを認める説明をしている。

**総務課長** そのことは関係区長から聞いています。市としては、登録数の誤差があり許容範囲内と思っている。

**質** 広報紙の配布だが、申請書を配布したらどううか。

**総務課長** 参考になる意見だ。行政区長と協議する。

**質** 隣組長の身分の問題だが、公選法の問題

で、非常勤特別職になることを嫌っている。

**総務課長** 補償がないので危惧している。

**質** 大災害時には、地域コミュニティが頼りだ。常日ごろ隣組と共生していれば、いざという時支援してもらえない。行政区加入の啓発はできないか。

**総務課長** 災害時には行政区、隣組の助け合いが重要になる。今後研究する。

**赤間市長** 隣組加入は



年々減少している。人的ネットワークが大事で、できることから取り組む。

※他に豪雨災害、障害者雇用を質問。

新井 高雄 議員



**問** 熊ヶ畑地区・赤地の水害被害の原因と責任は

**答** 自然災害か人災か判断する立場にない

**質** 7月の大雨により、産廃場土堤が一部損壊し直下の民家は土石流・泥水被害を受けた。(産廃場内の)調整池の越流が土堤の一部を損壊したというが、排水が本来の排水経路に排水されなかったためではないか。

**法律(民法)の不法行為のきまりに基づき、排水路の管理と工作物である土堤の管理責任が問われると判断するが、その原因と責**

任につき見解を明らかにしてもらいたい。

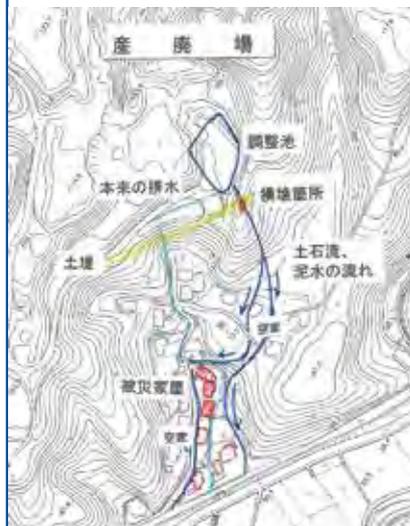
**原岡環境課長** 自然災害か人災か法律的に判断する立場にない。土堤は人工的なものだが、土地に定着した工作物に該当するものと判断する。しかし、一般論として今回は数十年に一度の特別警報があり、調整池も専門の技術者のもとに整備され、予想外の雨量があったとするなら、災害を事前に予見するこ

とはできなかつたとするのが弁護士見解である。

**鴨生地区水害対策**

**質** ①当初基本計画により、100%できあがったとしてもそれで絶対に安全が保障できるのか。基本計画作成時、計画案の1つにあつたポンプ排水も改めて見直す必要があるのではないか。

②地元で通称の「文化台」地域下流部も宅地冠水が起きた。その原



因は、旧鴨生駅前と水系が違うことにある。

**廣瀬土木課長** ①基本計画のうち、未完了の枝坂及び飯塚市・赤坂調整池の早期着工・完

成をめざしたい。

②鴨生川全体の工事が終われば、冠水も軽減されると考えている。よって、見直しは考えていない。

# 委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました

## 総務財政委員会

### 震災復興の取組みと防災減災対策

宮城県石巻市は、東「共助」「公助」の理  
日本大震災により、多念に基づき、市民、事  
業者及び市が相互に連  
携し、協力し合い、災  
害対策に取り組むこと  
が必要不可欠であるこ  
とを改めて認識された  
数5万758人で、避  
難所の定員の5倍以上  
もの避難者がいた箇所  
もありました。  
この震災を教訓とし、  
行政による災害対応に  
は限界があり、「自助」  
大規模災害が全国各  
地で発生している中、  
災害対応は重要課題で  
あり、大変貴重な視察  
となりました。



## 民生文教委員会

### 情報発信の中心十和田市現代美術館

8月に、青森県十和田市へ行政視察を行いました。  
同市は、省庁再編による国の事務所の統廃合などにより、多くの空き地が見られるようになった官庁街通りに、現代美術館を建設しました。同美術館は、国内外で活躍するアーティストの体験型の大型作品を多数展示し、イベントを実施するこ  
とで、若い層や外国人観光客を呼び込み、賑わいのあるまちづくりに取り組んでいます。  
また、情報発信の中心である十和田市現代美術館は、指定管理者制度を導入することで、質の高い企画展を継続して開催することができ、毎年10万人以上の入館者数を維持しているということでした。



## 産業建設委員会

### 余市・仁木ワイントーリズムプロジェクト

本年7月に、北海道余市郡余市町において行政視察を行いました。余市町は、人口約2万人の港町で、自然に恵まれた町です。余市町では特産のブドウ栽培等の離農者が増加し、農業の衰退に歯止めをかける取り組みとして6次産業化を政策目標に置き、取り組みを強化しています。その中の取り組みとし  
て「余市・仁木ワイントーリズムプロジェクト」を立ち上げ、交流人口の拡大と新規就農者の増加を目的に地域経済の活性化を図るワイン特区を推進しています。  
今後、本市が取り組む魅力あるまちづくりに大変参考となる事例で、有意義な意見交換ができました。



明日を作る

私たちが

# 嘉麻市高校生議会開催

嘉麻市の将来を担う高校生たちが、市政に対する提案等を行うことにより、政治に関心を持ち、まちづくりに参加する意欲を高め、地域への愛着や誇りを醸成し、嘉麻市に住み続けたいと思えるまちづくりに活かすことを目的に、高校生議会を開催いたします。

◎と き : 12月19日(水) 午後2時

◎ところ : 嘉麻市役所碓井庁舎 3階 議場

◎参加校 : 福岡県立稲築志耕館高等学校  
福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校

◎内 容 : 高校生議員による一般質問

みなさんお誘い合わせの上、ぜひ傍聴にお越しく下さい。

※傍聴席に入れない場合は、別室のテレビモニターでご覧ください。